

英文誌 Clinical Neuropsychopharmacology and Therapeutics (CNPT) 存続について

会員 各位

当学会の英文誌 Clinical Neuropsychopharmacology and Therapeutics (CNPT)存続に関するアンケートにご協力いただき、誠に有り難うございました。

さまざまなお意見をいただきましたが、存続を希望する先生方が廃止を希望する先生方よりも多く、4月14日に開催された理事会でアンケート結果について議論しました結果、存続するという方向に決定いたしました。ただし、この学会本体の経営状況などを鑑み、CNPT ホームページに関する改善は現時点では困難です。また、投稿数が少ないことからインパクトファクター取得もかなり先のことになると思います。このように困難な状況ではありますが、会員の皆様におかれましては、このCNPTを育ててやろうというお気持ちで、臨床精神薬理に関するご意見や症例報告、研究報告や総説など、どのような形でも構いませんので、投稿していただくことを心からお願い申し上げます。

ちなみに、CNPTの長所は3点あります。ひとつは、会員・非会員ともに掲載料が無料です。CNPTは誰でも論文をダウンロードできるオープンジャーナルですが、掲載料を食い物にするハゲタカジャーナルではありません。もうひとつは、受付から最初の決定までが査読者2名を介して通常1週間以内、長くとも3週間以内です。最終決定まで1ヶ月以内がほとんどと、きわめて迅速にかつ丁寧に査読します。「インパクトファクターは不要だが、ハゲタカジャーナルは許さない」という学位論文審査の方法を採用している大学の大学院生で、卒業まで時間がないという方には、とくにこのCNPTがおすすめです。最後に、昨年度からCNPT誌に掲載された「Original Contribution」の中から、学会選考委員会の投票によって、学会奨励賞1論文（CNPT優秀論文賞）を選考しています。毎年度、自動的に候補になり、学会奨励賞に選考されれば、50万円を所属大学への奨学寄付金もしくは研究助成金として授与されます。

以上、ご報告とともに、今後ともCNPTへご支援を賜りますようお願いいたします。

一般社団法人 日本臨床精神神経薬理学会
CNPT 編集長 寺尾 岳